

資料

1 沿革

- 明治 43 年 宮古町（現：宮古市）にあった岩手県立水産学校の校舎の一部に、岩手県水産試験場を創設。試験部、庶務部の 2 部制で発足
- 大正 9 年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市）に移転新築
- 昭和 2 年 津軽石、大槌、釜石さけ人工ふ化場を水産試験場に移管
- 4 年 2 月、水産試験場に漁業用海岸局（無線局）を設置
- 8 年 昭和 8 年 3 月 3 日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失
- 14 年 水産試験場庁舎及び漁業用海岸局を釜石市新浜町に移転新築
- 23 年 水産試験場に漁船技術員養成所を併設
- 24 年 組織を庶務会計部、漁労部、養殖部、製造部の 4 部制に改編
- 25 年 気仙郡赤崎町に赤崎実験所を開設
- 27 年 組織を庶務会計部、資源調査部、増殖部、製造部の 4 部制に改編
- 28 年 気仙郡広田町に水産試験場気仙分場を開設。組織を庶務会計部、漁労調査部、製造部の 3 部制に改編
- 31 年 漁業用海岸局（無線局）を釜石市大平地区に移転新築
- 35 年 組織を庶務部、漁撈調査部、増殖部、製造部の 4 部制に改編
- 36 年 製造部を利用部に改称
- 42 年 宮古市大沢に水産種苗センターと下閉伊分場を開設
- 44 年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築
- 45 年 久慈市に水産試験場九戸分場を開設
- 48 年 機構改革により庶務部、漁撈調査部、利用部、環境保全部、増殖部の 5 部制に改組。新たに専門技術員が駐在。翌 49 年、漁撈調査部を漁業部に、利用部を加工部に改称、専門技術員を室に改め 5 部 1 室制に組織改編
- 53 年 専門技術員を林業水産部漁業振興課に移管。
- 54 年 大船渡市末崎町に岩手県栽培漁業センターを開設
- 55 年 宮古市津軽石に下閉伊分場を移転、開設。
- 56 年 機構改革により気仙分場、赤崎実験所、水産種苗センターを廃止。水産試験場の増殖部と下閉伊分場、九戸分場を栽培漁業センターに移管、下閉伊分場を宮古分場、九戸分場を久慈分場と改称。水産試験場の組織を庶務部、漁業部、加工部、環境保全部の 4 部制に改編
- 57 年 加工実験室を開放実験室として業者に開放
- 62 年 九戸郡種市町に北部栽培漁業センターを開設。大船渡市末崎町の栽培漁業センターを南部栽培漁業センターに名称変更
- 平成 元年 漁船技術員養成所を廃止
- 6 年 3 月、釜石市平田に庁舎移転新築。水産試験場及び南部、北部栽培漁業センターを統合して岩手県水産技術センターに機構改革。宮古分場の名称をさけ・ます研究室に改称。総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部、種苗開発部、漁場保全部、さけます研究室の 7 部 1 室制に改組。久慈分場は廃止
- 9 年 さけます研究室業務を漁業資源部が所管し、職員は漁業資源部員（3 名）が兼務
- 11 年 組織改編により水産業専門技術員を本庁から水産技術センターへ移管
- 13 年 宮古市津軽石のさけ・ます研究室を廃止
- 18 年 岩手県行財政構造改革プログラムにより総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、

増養殖部及び漁場保全部の 6 部制に改編

- 19 年 マナマコ種苗生産技術開発のため（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所に駐在職員を派遣
- 21 年 マナマコ種苗生産技術確立により（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所への職員駐在終了
- 22 年 水産試験場開設から 100 周年を迎える
- 23 年 東日本大震災津波によりセンター施設が被災
- 26 年 被災した施設の復旧工事終了
- 28 年 台風 10 号により県北ふ化場施設が被災
- 31 年 県北ふ化場施設解体撤去

2 職員名簿

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
所 長 阿 部 繁 弘	H30.4.1 転入（前任・沿岸広域振興局水産部）
副 所 長 赤 平 英 之 副所長兼漁場保全部長 久 慈 康 支 首席水産業普及指導員 武 蔵 達 也	
総 務 部 部 長 昆 野 宣 弘 主 査 主 濱 隆 志 主 事 高 橋 宏 和	
企 画 指 導 部 部 長 横 沢 雄 大 主 査 専 門 研 究 員 佐 々 木 律 子 技 師 岸 航 平	
漁 業 資 源 部 部 長 太 田 克 彦 主 査 専 門 研 究 員 清 水 勇 一 専 門 研 究 員 児 玉 琢 哉 専 門 研 究 員 高 梨 愛 梨 専 門 研 究 員 佐 藤 俊 昭 専 門 研 究 員 及 川 利 幸 技 師 長 坂 剛 志	H30.4.1 昇任（上席専門研究員） H30.4.1 転入（前任・大船渡水産振興センター） H30.4.1 新採用
利 用 加 工 部 部 長 田 老 孝 則 上 席 専 門 研 究 員 上 田 智 広 主 査 専 門 研 究 員 藤 嶋 敦 技 師 滝 澤 紳	
増 養 殖 部 部 長 西 洞 孝 広 上 席 専 門 研 究 員 野 呂 忠 勝 主 査 専 門 研 究 員 田 中 一 志 専 門 研 究 員 渡 邊 成 美 専 門 研 究 員 佐 々 木 司 技 師 北 川 真 衣	H30.4.1 昇任（主任専門研究員） H30.4.1 新採用

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
<p>漁 場 保 全 部</p> <p>上 席 専 門 研 究 員 加 賀 克 昌 主 任 専 門 研 究 員 内 記 公 明 主 任 専 門 研 究 員 渡 邊 志 穂 専 門 研 究 員 瀬 川 叡</p>	H30.4.1 昇任（専門研究員）
<p>岩 手 丸</p> <p>船 長 心 得 村 上 孝 弘 上 席 機 関 士 湊 光 春 主 査 航 海 士 金 野 善 広 主 査 通 信 士 藤 沢 収 人 主 任 機 関 士 村 上 和 宏 航 海 士 中 村 拓 也 航 海 士 武 田 達 機 関 士 佐 々 木 達 航 海 士 佐 野 和 也 操 機 士 川 村 昇 吾 機 士 三 浦 義 光</p>	
<p>北 上 丸</p> <p>主 査 航 海 士 福 士 正 紀 上 席 機 関 士 熊 谷 勇 一 主 査 通 信 士 黒 沢 清 隆 主 任 航 海 士 藤 井 正 樹 機 関 士 細 谷 優 太 機 士 佐 々 木 幹 郎</p>	

3 表彰

表 彰 区 分	職 名	氏 名	実績の概要	受賞日
平成30年度釜石市「海の日」海事功労者表彰	上席機関士	湊 光春	漁業指導調査船業務精励	H30.07.23
平成30年度厚生労働統計功労者功績表彰	—	岩手県水産技術センター	平成29年度の調査の実施にあたり特に協力が良好だった事業所	H30.10.18
平成30年度農林水産部長職員表彰	上席専門研究員	上田 智広	通電加熱技術を利用した水産加工品の開発	H30.11.16
平成30年度農林水産部長職員表彰	副所長兼漁場保全部長 企画指導部長 主査専門研究員 主査専門研究員	久慈 康支 横沢 雄大 佐々木 律子 田中 一志	ワカメ養殖省力化技術の開発	H31.03.28
平成30年度農林水産部長職員表彰	上席機関士	湊 光春	漁業指導調査船業務精励	H31.03.28